

## 第32回 ゴミパイプライン協議会

会議名	: ゴミパイプライン協議会
開催日時	: 2020年10月24日(土) 10:00~12:00
場所	: 芦屋市環境処理センター会議室
参加者	
利用者の会	: 山口委員長、友田副委員長(司会進行)、大永委員、春木委員、 三浦委員、大田委員、野村委員、浅田委員
市より	: 森田部長、藪田課長、尾川係長、中課員、林課員
傍聴者	: 1名

司会	<p>皆さん、おはようございます。定刻となりましたので、第32回ゴミパイプライン協議会を開催させていただきたいと思えます。</p> <p>本日の司会は利用者の会の友田でございますので、皆様、議事進行よろしくご協力のほどお願いいたします。</p> <p>会議の前に、資料が1、2、3、4、資料4までございます。プラス、先ほど、市のほうから配っていただきました、廃棄物運用パイプライン施設の年次報告でございます。それが本日の資料でございます。</p> <p>それでは、早速ですけれども、議題の1、パイプライン運転報告について、資料1、林様のほうからご説明のほうをお願いいたします。</p>
市	<p>おはようございます。芦屋市の林です。議題1としまして、毎回のパイプライン運転報告について報告させていただきます。事前に資料配布させていただいたんですけども、修正等がありましたので、本日配らせてもらいました資料を正として、ご覧ください。</p> <p>まず、システム異常発報対応といたしまして、3ページ目まで、書かせていただいております。幾つか報告させていただきます。</p> <p>まず、ナンバーで言いますと、一番左手の6番のほうですね、8月26日水曜日、16時11分、これ、ご報告はさせていただいておりますけども、高浜町の投入番号で言うと5089、排出機弁、閉異常と、この中を見ると、雑誌ですね、旅行の雑誌が多数見つかって、これが弁のほうにかみ込んでしまって異常が出ました。一時的に投入部分が復旧するまでは使えないような状態でした。これについては取り出して投入横に啓発として置いておりました。</p> <p>次いで、ナンバーで言いますと、7番ですね、8月28日金曜日、朝の5時49分、場所は若葉町の投入番号で言いますと8079、排出機弁、開異常B、こちらは大雨の流れで報告させていただきました信号異常、これが最初の異常になります。これを皮切りに投入口で言いますと8069、79、それぞれが投入できないような状態になっておりました。</p> <p>続いて、1ページをめくってくださいまして、ナンバーで言うと18番、9月14日月曜日、12時16分、場所は新浜町の投入番号で言いますと3159、排出機弁、閉異常。こちらのほうに関しましては、異常が出まして現場に行って、ごみの除去</p>

	<p>をしたのですけども運転をしてもローカル側で空気の流れが感じる事ができず、管内の閉塞疑いがあったため、後に運転を停止しました。これに関しましては、議題の2番、そちらのほうでご説明をさせていただきます。</p> <p>続いて、今日配布させていただきましたナンバー1の27番、9月21日月曜日、14時02分、こちら浜風町の投入番号で言うと3033、吸気弁の閉異常。こちらのほうも現場に行きまして、弁下のごみを除去し同様に運転をしたのですけども、ローカル側で空気の流れが確認できず管内の閉塞があったため、運転停止をしました。これも同様に議題2でまた説明させていただきます。</p> <p>続いて、発生件数といたしましては、平成30年度が9件、昨年度、令和元年度は19件、令和2年度は39件と、ちょっと件数的には増えているのですけども、2年前とか昨年度は運転停止も絡んでおりましたので、そこは変動があったかと思えます。</p> <p>続きまして、利用者からの連絡対応につきまして、今回に関しましては、件数が少なく4件ございました。平成30年度8件、昨年度は36件でした。</p> <p>ここには書いてないのですけども、ワーキンググループでお話があったので補足で説明させていただきますと、今年の4月から誤投入への対応は全くしてないのですけども、昨年度この同じ時期に関しましては2件ございました。その前、2年前も2件、3年前は1件ございました。今年に関しましては、ほとんど対応しておりません、この期間も0件になっております。</p> <p>また、よく利用者からの連絡対応で、開異常、開に戻さずそのまま行ってしまった件ですけど、この1か月間は0件で対応しておりません。この件に関しましては、議題の4番で説明されると思えます。</p> <p>巡回及び定期点検で発見された不具合点に関しまして、巡回で発見された、輸送管の穴あき、来週補修工事をやる予定にしております。また、幾つかのコインマスターの交換、また、投入口下の地下のピットの排水ポンプの動作不良で1件あり、補修工事をしております。</p> <p>また一番下の設備トラブルの対応としまして、高浜町、4029、スクリュウに関しましては、本日契約できましたので、また順次工程等決まりましたら、皆様に報告させていただきます。</p> <p>議題1のパイプライン運転報告につきましては以上になります。</p>
<p>司会</p>	<p>どうもありがとうございました。ただいまのご説明に関しまして質問ある方はお願いします。はい、春木さん、どうぞ。</p>
<p>利用者の会</p>	<p>どうもご苦労さまです。春木です。</p> <p>今、パタッと説明してもらって、受けた感想といいますか、システム異常発報対応で39件ということで非常に多いんですけど、例えばドラムね、ドラムの「のみ込み異常」、これまで陽光町が頻繁に起こっている感覚だったけど、今回海洋町のほうは何件か、このドラムの「のみ込み異常」があるね。これ、恐らく、ドラムの中でごみが引っかかって、システム異常起こしている。中層のほうで、正転、逆転を繰り返して、で、解消、あれなんやけど。この辺、過去と比べたらだんだん増えてきているということではないのかな。それと、海洋町がちょっと今回多いという気がしているけど、この辺、例えばごみでやっぱり引っかかるようなものを住民がほかしとる、投入</p>

	<p>禁止物ね。それか、それとも設備的に、ドラムの中の、何ちゅうか、案内板というか何というか、その辺がちょっと歪んできたり、何かその設備的な支障がきたしかけてきているのかなとかね、やっぱりこの辺ちょっと考えられる原因をやっぱり推定して、その考えられる原因に対してやっぱり一つ一つちょっとアクションを取っておく必要がないかなという気がするのですよ。</p> <p>どこでもあれいってもうて、潰れてしまっただけからやったら、またお金かかるしね、そやから応急処置のできるのであれば、案内板とかね、そういう部分的な修理できるのであれば、それを早めにしといたほうが、後々いいのかなという気もするし。一方では、住民に対して、しょっちゅう起きているようなところやったら、こういう可能性があるんで、「こういう禁止物はできるだけ入れないように」というような、やっぱりそういうことで、ちょっと対応を取ってほしい感じがしています。</p> <p>それと、弁にしてもね、ブレーカトリップいうのも何件か起きているね。ブレーカトリップいうたら、やっぱり何らかのごみが、ぐっところかみ込んでいるのどちがうかなという感じがしますね。それを出したやつは、やっぱり何らかの原因を推定でもいいので、やっぱり出してほしいなという気もするし、一方では弁自体がちょっと歪んで、ちょっともう駄目になりつつあるとかね、そういうところね。だから排出弁でもいざというとき、用意があるのか、部品なんかでも弁自体の部品なんかでも予備があるのかどうかね、その辺やっぱり揃えとかないかんいう気もするけど、その辺がどうなんかなという感じがしています。</p>
市	<p>そうですね、排出機弁とか弁は、ごみがかみ込むとか、動いてなかった期間もあるので、潤滑油が固まっていたのかなと、現場のほうからは聞いております。先ほど言った「のみ込み異常」とかに関しましても、ある程度は推測される原因を考えてはいますけど。</p> <p>これはドラムの断面図であります。これは芦屋市のパンフレットに載っている図面ですけど、投入口から入れられたごみ、ここですかね、この青い部分のごみをためるところで、赤い部分が先ほど春木さんが言われた案内板になります。緑の部分がドラムで回転するところになりまして、ブリッジレベル計と満杯レベル計の2つありまして、ごみが投入されて、たまっていくと、上の満杯レベル計は、赤ランプで、このレベル計までいったら、ドラムが回転しまして、中に流れていく。この工程が「のみ込み」という工程になります。今、下にブリッジレベル計のほうに黒い丸でごみがちょっと引っかかっているような表現をさせてもらっていますが、ここに引っかかると、「のみ込み異常」一ちゃんとドラムまでのみ込んでいかなかったよという異常になります。</p> <p>これで異常が発生するのですけども、この中で、先ほど春木さんが言われたとおり、陽光町がちょっと多かった。で、海洋町、南浜町は少なく大体の割合としては、去年は、大体7対3ぐらいですね。で、じゃあ何が違うかと言うたら、陽光町はマンションが多いので、上から入れられる方が多いのかな、これ推測ですが、起因の推測として。で、投入口の数から言ったら、全階にあるのですけど、大体12階、平均としては大体36メートルのところにあるのですけど、やっぱり上から入れられると、これは中の写真ですけども、右手のほうに落ちてきて、点検口があるのですけども、ここのゴム板、赤い色をつけたところに、ばーんと当たると。下の写真ですけど、やっぱり高いところから落ちてきたので、生ごみとかの汚汁とかがあって、そこでご</p>

	<p>みが引っかかってしまうのかなという推測はしています。</p> <p>これはあくまで1つの原因としての推測なので、これが多発、多発というか、中で発生しているという原因とはちょっと限らないのですけども。こういった原因が1つ考えられますので、例えば、実際に上から入れられるときに、水気を切ってもらおうとかという対応をお願いしようと、チラシを考えていますけど、ワーキンググループで話そうと思っています。まだ配布とかしていないですが、そういった考えはちょっと持っています。あくまでも、これは市民の方へのお願いなので、その前に設備的な原因ではないかという確認をする必要があるとは思っています。</p> <p>こういったことをちょっと考えておりますので、またワーキンググループで皆さんに提案して、ああでもないこうでもないという議論、そういった話合いをしたいと思っています。</p>
利用者の会	陽光町のほうは高層やけど、海洋町のほうは戸建てやね。
市	そうです、その原因というのが、1つか2つか、複合的なものなのかというのは、分からない状態です。
利用者の会	その辺ちょっとね、オペレーター、作業員の人に、よろしくお願いします。やっぱり弁関係とドラム関係が多いのですね。
市	そうですね。
司会	はい、大田さんどうぞ。
利用者の会	大田です。ご苦労さまです。3つちょっと質問ですけども、システム異常の4番目の弁体が固着というところで、どういうことであるかということの説明と、それと23番、32番、39番ですか、同じ12031のところ、3回、故障解除後、復旧という形になっていますけども、同じ箇所連続するというのは、ちょっとどういうことであるかということ。それと、巡回点検で発見されたこの前年対比、前年件数というの、これ記載されていないけども、この辺のところどうなのかということをお聞きしたい。
市	まず、ナンバー4の12121、これに関しては、これ試運転のときですかね、排水作業が終わって、順番に運転しているときに発生したものになります。私も試運転のときだったので現場にいたのですけども、先ほど言ったとおり、排出弁のところ、潤滑油か何かが引っかかって弁が開かなかった現象になります。これも停止して以降、初めて動かした投入口になりますので、恐らく固まっていた。で、現場のほうで潤滑スプレーとか塗ったら通常に動くようになりましたので、恐らく固着が原因かなと考えられます。
利用者の会	それごみの絡みとは別の問題？
市	<p>違うかと思えますね、僕も現場にいたのですけども。残りの他の投入口に関しては、試運転のとき復旧して順番に潮見町の下流というか、環境処理センターから近いところへ順番にやったのですけども、初めてここで引っかかった。残りは、潮見南公園とか、そこら辺は順調に動いたのですが、久しぶり動かしたことが原因かなと思っております、それが1つ目。</p> <p>あと、もう一つ言われていた、12031、これも2か月間ですけども、連続した日ですかね、そういったことがなかったので。センターのほうで復旧作業したので、特に今、現場に行くような対応というのは聞いておりません。そこまで重症ではないのか</p>

	なという判断をしております。
利用者の会	根本的に直ってないの。
市	時間帯ですかね。弁が時間内に閉まらなかったというのが、毎日運転している中で、この2か月間で3回起きてしまったというところであるので。
利用者の会	同じ場所でまた発生する可能性もある。
市	そうですね、ここ投入口に限らず。
利用者の会	部品の交換とか、その辺、必要性は、ここのところはないの？
市	<p>そうですね、今日も、あしたも、あさってもと連続してなると、現場対応になると思います。</p> <p>最後に言われていました、巡回及び定期点検、以前も大田さんのほうからご質問あったと思うのですが、最初のシステム異常発報、これはシステム的に出てくるものでして、利用者から連絡対応は、環境処理センターの代表番号や、直接業者さんのほうにかけたときに日報として出てくるのですが、巡回及び定期点検は、復旧作業もありますんで、巡回へ行く頻度とか不定期になってしまっているところもあり比較しにくいので、こちらのほうはしておりません。</p>
利用者の会	これ老朽化していったら、巡回とか点検で件数的に増えていくというふうに思うのだけだね。その辺のところ、どうなのかなと。
市	そうですね、年に1回の点検がメインになっていまして、先ほど言った復旧作業等でこの月は少なかったり、この月は多かったりというのがあるので、比較するとしたら年単位のほうがいいのかと思っております。
司会者	いいですか、はい、野村さん、どうぞ。
利用者の会	<p>大田さんの続きですけど、潮見町の箇所の12031の故障の原因ですけど、これ排出弁ばかりが短期間に3回続いているわけですね。今、林さんのご説明であれば、止まっていて動かしたから、そのときに排出弁がひっついていて、そやけど3回もこれ起こっているということになればやはり、ただそれをモニターで確認して、現場に行くのではなくて、オペレーションだけで解決しているということであれば、センサーの問題なのか、電氣的な何か信号のやり取りの問題なのか、今おっしゃっていた、閉まるときの時間のタイマーセットが短すぎて、超えてしまうのか、どちらにしても、この状況だけで、現場見ないと分からないのかもしれませんが、判断としてはこの開閉の弁のところの動きが悪いというふうに、3回出たら考えられるので、その弁のところをやっぱり、開閉異常ということであれば、開閉の弁のところをやっぱり給油するなり、清掃するなり、きっちりそこに行って、それで起きるか起きないか、それでも起きるということになれば問題やと思いますので、今、現状としては、取りあえず、そこそこはやっぱり現場行ってそれは、どう言うのか、ちょっとその清掃、給油ということが、おやり頂かないといけないと私は考えますが。</p>
市	現場の人と確認して、検討します。
利用者の会	はい、お願いします。
司会	それ以外にご質問ございませんか。はい、山口さん、どうぞ。
利用者の会	はい、利用者の会、山口です。私は、形式的なことなので、そんなに深い意味

	<p>はないですけど、まず、作業内容に関して、3件、復旧と書いてないのですね。あとは全部復旧と書いてある。書いてないのは、7番、それから18番、27番が復旧と書いてないのですね。で、我々はずっとこれやっているの、状況は把握しているので分かるんですけど、例えば来週の木曜日、利用者の会でこれを説明しますが、ぼんっと見て、なかなか状況が分からない人が多いと思うのですね。だから、この場合、例えば7番ですね、これ信号異常ですよ、例の。で、1週間ぐらいかかったのですかね。</p>
市	2週間、そうですね、ええ。
利用者の会	2週間ぐらい。じゃあ、その2週間後に復旧したとかね、そういうのをここにちょっと入れてほしいです。で、現在も、今も続いていますよね？
市	そうですね、はい。
利用者の会	<p>新浜と浜風。恐らくそれは、18番と27番だと思うんですけども、そうですね。そしたら、ここに未復旧とかね、何かそういうこと入れないと、ほかは全部復旧とか解消と書いてあるけど、えっ、どうなったの？って話なので、日付の問題もあるんですけど、復旧作業中とか、何かそういう言葉を入れると見る人も、ああ、今こんな状況なんやというのが分かるのが1点です。</p> <p>2点目は、ワーキンググループでも話があったと思うんですけど、今年の4月1日から、誤投入をしないということで、細かいデータはいらないので、何件ぐらい何とかしてほしいという電話があったのか、件数。それから、例えばこれは何とかせないかなというお金の話とか、そういうのがあったかどうかだけで、1年間ぐらいのデータでいいと思うのですよ。そしたら、停止して1年間ぐらいデータ取って、ああ、もうこれだったら、やっぱり停止しても大丈夫だなと、もう一遍これは検討しなきゃならないぞという話が必ずありますので、ちょっとその辺のデータだけは集めてほしいと。今からでもいいと思うのですね、今でも。ちょっとそこ、してほしいなというわけです。</p> <p>3番目は、やはり大きな問題で今、新浜と浜風が今日の朝だけで40日間かな、毎日つけていますけど、もうこの期間、結構長い間止まっていますので、そういうものはやはり、欄を設けて、この時期にこういう問題があったというのは載せないと、恐らくこのパイプラインみたいなだけでは、なかなか難しいので、できたらどこの欄にそういう長い間トラブったものは、後世ですね、きちっと、僕らがいつまでやれるか分かんないですからね、後世が見て、こんな年代、この場所で、このくらいあったのだな、みんな大変だったよねというのだけね、ちょっと載せとかないと、この運転報告だけ見ても、いつ始まっては分かるんですけど、いつ終わったか分かんないの、ちょっとそこだけですね。</p> <p>その3点ですね、1点目が、この作業内容で復旧は書いてあるんですけど、復旧してないのは書いてない。それから、2番目は、さっきも言いました、誤投入のデータを少しだけ、1年間ぐらい取って、じゃあこれでもう間違いなく我々が決断したものが問題なかったかどうかのデータを欲しい、取りたい。3番目は、こういうふうに大きなトラブル、2週間とか3週間、今2か月間止まっている件は、それはちょっと別途で何か欄を設けて、ここの中でいいですから簡単に、何か長期回復言っみたいなのがあればいいかなとか。そしてそれは1年目の年間報告の中で、きちっとこういう点がトラブルでした、大きなトラブルがありましたというのは載せていると、</p>

	後世の人もよく分かるかなということです。以上です。
司会	はい、そのほかにお気づきの、はい、春木さん、どうぞ。
利用者の会	利用者の会の春木です。すみません、1点だけ。高浜町のスクリュウね、ワーキングで進捗説明済みとなっているけど、現在、予定というか、計画いいのか、その辺ちょっと再確認ということで。えっ、ああ、後で言うのか。これは後で出てくるのやね。
市	そうですね、はい。今の工事状況は3番でそれぞれあります。
利用者の会	ああ、3番でね、そうですか。はい、分かりました。
司会	はい、大田さん、どうぞ。
利用者の会	先ほどの潮見の12031で、作業時間がそれぞれ5分と。5分ということは、何かこう徹底的に調べられてないのところがうかなと、その場で何か対応して、まあまあ直ったから、それで済んでいると。
市	これ、あくまでもモニターでの復旧になりますので。
利用者の会	モニター上でね。
市	はい。中央監視室での。
利用者の会	ということは、現場のほうで、きちっと確認してないということ？
市	中央監視室で、例えば開閉をもう1回やってみたら、すぐ復旧したとか、そういうような形になっていますので。もちろん、先ほど林が申しましたように、現場の方と調整をして、現場を見に行くということもやりますけども、この今起きたときの事象としては、中央で十分復旧できたという形で5分という形になっています。
利用者の会	だからもう、こういう資料を出していただいて、まあまあ管理センターのほうにも、この箇所が過去に何回起こったかというものがデータで見えたら、これが続いたら、おかしいなというふうに思っていて、これ徹底的に調べていただくということが必要なんじゃないかと。ただ、その都度、その都度、発生したからモニター解除して直ったよと、それだけで済まさないでね、やっぱり原因がどこにあるかということをきちっとやっぱり調べる必要があるのところがうのかというふうに思いますけども。
司会	はい。今後そういう形で先ほど林さんも現場にも駆けつけていただくということでございます。それ以外にございますか、ご質問。ないようでしたら、本日の議題2番、新浜町、浜風町の一部のパイプラインの閉管について、資料2に関しまして、林さんからご説明をお願いいたします。
市	<p>芦屋市の林です。議題2としまして、今、お話にもありました、浜風町、新浜町それぞれ止まっている件について報告させていただきます。</p> <p>資料に関しましては、21日に行われましたワーキンググループの資料とほぼ変わらない内容になります。</p> <p>場所は、こちらの赤い地域です。浜風町一部、新浜町になります。期間といたしましては、新浜町が9月14日から止まっています。先ほどの運転報告のところにも同様の記載をさせてもらっています。浜風町に関しましては、9月21日から一部地域からどんどん広がっていった状況です。</p> <p>こちらが、今の復旧作業中の輸送管内、カメラ車走らせたときの状況になります。</p>

	<p>す。それぞれごみの堆積がありましたので、その復旧の作業を行いました。</p> <p>カメラ車によると、右上のほうの8メートルぐらい進んだところになります。左上はそれ以上カメラ車が進まなかったので、0.00と書いております。で、右下のほうは、60メートルぐらい進んだ、その合流管の部分ですかね、ごみがたまっております。</p> <p>現在につきましては、浜風町の一部地域は堆積ごみの除去を完了しております。今週の21日、22日と新浜町のラ・ヴェール敷地内で排水作業を行ってまいりました。現在につきましては、20日付で、ワーキンググループで説明させてもらった資料になりますので、そう書いているわけですけども、それ以降、浜風町に関しましては、木曜日の夜から月曜日の朝にかけて、梅雨前線で雨が降ったので、試運転の時期を延期してまいりまして、月曜日から順次運転をしようと思っております。何の問題もなければ月曜日に仮復旧を予定しております。それは運転の状況を見て判断させてまいります。</p> <p>で、ちょっと新浜町については、赤い地域と、青丸、恐らく運転とかカメラ調査をした結果、あそこら辺に大きな閉塞箇所があるのではないかなという推測をしております。まだ、そこまでカメラ車が進んでない状態なので。その堆積ごみを洗浄車で取って、カメラ車進ませて、それを繰り返しながら作業をしております。</p> <p>あと、洗浄作業中に見つけれられたごみについて、これもワーキンググループでご説明をさせてもらったんですけども、こちらは浜風町から取り出されたごみになります。右手のほうが、衣類とか吸湿剤です。吸湿剤は結構そのまま捨てられている方が多くて、水を吸った状態で重くなり輸送管内に堆積した状態になっております。</p> <p>あと、左手のほうは、雑誌、皿、コントローラー、ペットボトル、ガスボンベになります。こちらのほうでは、書かせてもらってないのでんですけども、高浜町からビニール袋に入った土とかも輸送管内で発見されております。それについては、取り出すというよりは、それぞれ人が入管してバキュームで取り除いています。</p> <p>続いて、新浜町で見つけれられたごみに関しましては、こちらにも衣類と、カテゴリー、目覚まし時計、後、ビン、コード等になります。こちらの赤いポールは大きさを比べるために置いてあるだけで、これは取り出されたごみではありません。</p> <p>堆積ごみに関しましては、これで全てではありません。輸送管内に人が入管をして、ホースを持って行って、ホースに入らないごみとか、これはちょっと出してほしいというのは、持って帰ってきてというのは現場のほうに伝えておりますので、取り出したごみをこういう形で掲示をさせていただいております。</p> <p>復旧作業は引き続き行っております、まだ終わってない新浜町の地域に関し、また、この青い部分に関しましては、点検口からかなり遠いところになりますので、今後掘削をして、掘削をしたところから人が入管できるように輸送管内上部を開口して、そこから洗浄作業を行うことを考えております。今、手続等を行っておりますので、復旧時期についてはまだ分かりません。</p> <p>浜風町につきましては、先ほど説明させてもらったとおり、来週以降、試運転を順次開始しようと思っております。報告のほうは以上であります。</p>
司会	<p>ありがとうございました。ただいまのご説明に対しまして、ご質問ある方は願います。はい、増田さん、どうぞ。</p>
利用者の会	<p>私、質問じゃないんですけど、これ、絵を見まして、昔、私が絡んでいるとうい</p>



	<p>か、思い出したのがあります、それは、ごみの処理で2人亡くなっているのですよ。何で2人亡くなったかという、1人が倒れました。それを助けに行こうと飛び込んだのです。そして2人共、ガスにやられちゃいましたね。</p> <p>これを思い出したのはなぜかといいますと、もう何日か分かりませんが、1か月ぐらい前でしょうかね、魚の生あらをたくさん持った人、それから骨を持った人、つまり、釣果ですね、釣りがすごくこれうまいって、たくさん魚を釣ったんじゃないかなと思うのです。それをさばいて、要らない物をごみに入れて持って来た人とすれ違ったのですよ。私もそのときは、ああ、たくさん魚が釣れたのだなと思って、そのままにしちゃったのですが、そして、ちらっと後ろを見たら、もういなかったのですけどね、その人。ちょっと歩いていた。多分あれをこの投入口にほかしちゃったんじゃないかなと思うのですよ。</p> <p>で、なぜかという、それで気がついたのですけど、そういえば、もうかなり前ですよ、何十年も前です。この2人が亡くなった原因は生魚です。生魚を置いときますと、メルカプタンみたいな脳を駄目にしてしまう毒ガスが出ます。で、そんなことはないと思うのですけど、一応ちょっとそういうような事故がないように注意の上には注意を。慎重に、ぜひ事故を起こさないようにやっていただきたい。</p> <p>で、もう一つは水銀です。水銀で思い出したのは、これまた学生のときだったのですが、私の友達が眼帯かけて来たのです。眼帯をかけてきて、えっ、何をしたの？と言ったら、目が痛くて目医者行って来た。何が起こったのですかと言ったら、彼は学校でアマルガム、水銀ですね、それを実験やっていたのです。そこにはたまたま熱帯魚を飼う水槽があったのですよ。その水槽にアマルガムで使う水銀をぼちよつと落としてしまった。そしたら、それを見た教授が物すごい怒った。俺はもう出てくから早く処理しろと。で、彼は何でそんな怒られるか分からないけども、その水銀をピペットで熱帯魚の水槽から取ろうとした。それで目をやられちゃったのです。なぜかと思ったら、熱帯魚の水槽というのは温度が高いのですよね。で、水銀は蒸発して目にやってくるのです。前回、水銀が大量にほかされたというのがあります、これを思い出したのですね。</p> <p>ですから、こういうところに一緒になって水銀がほかされている。それ、その温度が低いときは問題ないですけどね、特に温度が高くなったとき、そういうときは本当に注意してくださいね。もう事故起こさないようにと思って、これは老婆心ですけども。ちょっと、そんなことを思い出したのです。以上です。</p>
司会	ありがとうございました。それ以外にご質問等、はい、春木さん、どうぞ。
利用者の会	<p>春木です。今、本当に貴重なご意見いただいて、やっぱり非常にこの内部での作業というのは、危険を伴っているということやと思う。もちろん、酸欠の主任作業とか、特化則(特定化学物質障害予防規則)やったかな、このような資格も当然持つてはると思うけど、今度の包括委託にしたって有識者という当然資格者ということで条件にも入れられていると思うけど、やっぱりこういう作業をするときには十分しっかりと内部の確認、それと送風機による換気をしっかりやってほしいなと思います。でないと、もし万一のことがあったら、これもう大変なことになると思うのですよね。</p> <p>そやから、そういう意味でもやっぱり、こういういろんなもの、ガスボンベまで入ってるよね、これ芦屋でもガスボンベ入れられて、収集車があれ2回やった？新しい収</p>

	<p>集車もガスボンベ入れられて燃えて、もう駄目になったわね。ところが、パイプラインにはガスボンベが入るとるわけ。そやから、この辺やっぱり衣服かてそうやで、今回両方、浜風町も新浜町も両方、衣服入っていたんやね、これ。ということは、その辺の認識がまだやっぱり物すごい、あれやと思うわ。ほんで、毎日ホームページで詰まっています、詰まっています、詰まっていますいうて、もう2か月近くなってきたけど、こないやっぱり他の住民が、あの地域の住民、あるいは市長、副市長やとか、議員が何でやと、これ見て、これどなんなっているねん、いや、こんな詰まってきましたいうて、やっぱり今後、代替案を検討する上でも、非常にマイナス要因になると思うわ。</p> <p>そやから、この辺やっぱり厳しくやってほしい。あれ、週6日間やった？もうごみ収集車で集めます。住民、何にも感じてないと、感じてないことはないけど。その辺の安全の確認の徹底と、それとともに、こういうものが出たらやっぱり即住民にアピールしてほしいなと。いざ、もうそういう事故が起こってからでは遅いからね、ぜひ、よろしくをお願いします。</p>
市	<p>貴重なご意見やと思います。やっぱり詰まったら、今の状態では中に入って除去するしかない。入る作業員の安全というのは、我々はもちろんその入ってくれる人も全部、酸欠の資格は持っています。だから酸素濃度、硫化水素、そういうのはもちろん、で、送風機によって換気はすると。ただ、さっきおっしゃってくれたみたいに、魚のあらでそんなことになるというのは我々もちょっと知らなかったのもあるし、実際、春木さんおっしゃったみたいに、ボンベがあったら、そこでもしその管内で爆発したら、その人は多分もうどうしようもないと思うのです。</p> <p>だからやっぱり、こういう啓発というのは我々も地道に続けていっているつもりですけど、やっぱり詰まって見てみると、どうしてもこういう状態にはなっていると。で、今パッカー車による臨時収集をやっていて、その機にというか、そのごみ捨てについても、ちょっといろいろ調べようとは、パイプライン地域の方のマナーというか、そういうのは調べようとは思っていますけども、やっぱりかなり危険な作業であることは確かです。</p>
利用者の会	危険な作業。
市	実際そのボンベが入っていること分かっていたらいいのですけども。
利用者の会	うん、分からんと思う。
市	出してみても初めて分かるわけです。
利用者の会	今、臨時の収集をやっているけど、もしガスボンベで余っているやつ、入れられてしまったら、また爆発して、また火災って。それがニュースになって流れたら。
市	パッカー車で爆発して、それも大変なことですけども、管内で爆発すると一番危険で、そこに入っている作業員がいるので、狭い空間になりますので。
利用者の会	せやから、安全第一の下、そういうことがあったらやっぱり即、住民に言うて、これが入ったたらどうなるのや。最悪こういうケースになるのやで、ほんだらパイプライン地域は非常にあかんということになりかねんと思う。ぜひ厳しく住民サービスやなしに、厳しくやるのがひいては住民サービスに繋がるということを、ぜひ厳しくやってほしい。作業員のためにも、よろしくをお願いします。

利用者の会	いいですか。
司会者	はい、浅田さん、どうぞ。
利用者の会	<p>今、皆さんが話された内容は、ほとんど半年以上前に全部私が言っています。で、管内に入って作業するのは本当危ないと。それは、だから、ロボットとか何かできないのかという話をさせていただきましたよね。</p> <p>この3人の方、聞いていると思うのですよ。そういうのを、ちょっといろんなとこに情報提供を求めて、ゼネコンですとか、ロボットをやっているような会社とか、重機メーカーありますよね。そういったとこに問い合わせとかね、実際に直接話してみたらどうですかね、営業担当。コマツなんかやっているのやないかと思うのですよ。それからたしか、日揮は、下水の中のロボットのカメラのやつやっていますよね、ロボット本体、あれ、日揮やっていますよね。そしたら、そこのところが何かアタッチメントつけてそれを取るようなものできないかとかね、何かそういうのをやっぱり積極的に調べるべきだと思うのですよ。私は、半年以上前にこれ言っていますよ、同じことを。だから、ぜひともこれをやっていただきたいと思うのですよ。</p>
利用者の会	いいでしょうか。
司会者	はい、野村さん、どうぞ。
利用者の会	今の浅田さんの意見もそうですけどね、私はもう一つ、この利用者の我々の立場ね、山口さん、これ3年間の利用者の会は何回やりましたかね。何か100回近く、50回か。
利用者の会	50です。
利用者の会	<p>50回やったのです。50回やって、その内の半分以上、70%ぐらいはこのごみ、こんなん捨てたらあかん、あんなのを捨てたらあかん、こうなって詰まった、それはずっと利用者の会で説明してきたのです。そやけど、ほんならそれでどれだけ我々のほうの利用者が変わったのか。これ、残念ながら最近、私、朝に散歩するのに、海のとこを回るコースと、それから潮見町の中をぐるぐるってごみのステーションのあるとこ回っているのです。</p> <p>で、あるときに、ごみのステーションを回っていると、いろんな形で皆さんお捨てになっているのを目にするわけですね。あまりに、はっきり言って潮見町ももうちょっと啓蒙しないと、個々の捨てている人というのはもう分からんのか、何でもかんでも持ってきて、そこへ捨てられるから捨てたらええというような感覚の人がすごく多いのですね。</p> <p>で、そういう方もいらっしゃったら、ちゃんと現状を把握し、おやりいただいている方もあるのでしょうか、何人かはそういうのを目にするというのがありましてね、どうやったらこれ、こう我々捨てるほうの人にマナーを守ってもらうなり、それをどうしたらいいのか。そこが非常にジレンマですね、私としては。</p> <p>というのは、私もこの会議に参加してなかったら何でも捨てていると思うのですよ。これを捨てたらあかん、あれを捨てたらあかんというのは自分が知っているからで、できるだけこれは捨てんようにしよう、あれ捨てんようにしよう、こうなるわけですけど、分からない人はもう、そうだから、今の本の辞書やとか、あんなもんは捨てたら、引っ張ることができないということが分かるのですけども、そういうことを理解で</p>

	<p>きない人は捨ててしまうということなのか、自分だけ捨てたらええと考えるのか、それは分かんないけども。</p> <p>どうやったらこれみんなが、我々のほうの立場も、山口さんはじめ、何ぼ利用者で説明しても、そこへ出て来られる方は自治会を代表して来られる方で、一部の人が出てこられると。今度、自治会の中で、どれだけ話をしたところで、また班長が出てきて、班長で話をします。班長がみんなにそれをどれだけ啓蒙しているのかということになると、なかなかそれが実際には至ってないというところがあると思うのですね。</p> <p>それをどういうふうにして、これを実行するのかと。これほんまに今、浅田さんおっしゃるようにガスボンベ入ったたら、中で爆発して、潮見なんか重大な事故になって、人身事故になっちゃう。これもうパイプライン、ほんま下手打ったら止まりますよ、本当。そういう現状やと思うのです。だから、それを我々も知らんと、使うほうとしてはやっぱりいかんわけですな。だけど、そのことが全然理解できてない人いることが非常に残念ですね。だから、同じ問題がこれ3年しても、まだ本を捨てとる、衣類を捨てとるというのが見えるのは本当、どうしたらいいのかということで、もうそれどうしたらいいのか、なら、その結論が出ないですけどね、残念やと思っています。</p>
利用者の会	<p>途中でちょっとすみません。民間の企業なんかね、工場なんかに行ったら、こういうことが起こったら、工程異常報告書、こういう流れの中で、こうやってしまった。これだけ被害を出してしまった。原因は何や、想定する原因は何や、皆出して、それに対して対策はこうしますと書くのや。その被害の状況によっては始末書もんやわね。それだけきっちり罰則を与えるわけよ。</p> <p>ところが、今の状態は、もう過去から何回も出ているけど、収集車、あれ臨時的収集車は週6日やった？ね、それだけやとる。ほんだら、別にそれほど被害いうか、被ってないという気がする。せやけど、やっぱりこういうことが起こったときには、やっぱりそれなりに住民の利便性が非常に低下するということを実感してもらわないと、やっぱりいつまでたっても直らないと。</p> <p>それやったから直るかどうかわかんよ。そやけど、やっぱりそういうその決めたことを守らなかつたら、平成26年暮れやったかな、山口委員長が中心になって、住民説明会、チラシ配布、いっぱいやってきている。それがもうこの先、無になる可能性も考えられるわけで、もう最悪を考えたら。そやから、やっぱりそこは厳しくやってほしいと思いますが、それがひいては。</p>
市	<p>臨時収集に関しては、ワーキンググループで話をしていたほうがいいと思いますので。</p>
利用者の会	<p>まあ、それね、その辺ね、住民でも検討して。</p>
市	<p>多分、停止があつて、そのときには原因が分からない状態で停止をしますので、堆積があるとかいう形で、それが穴あきのものであるのか、水のものであるのか、こういう辞書とかのものであるのか、後で分かるという形になりますので。だから、やっぱり確かに春木さんのおっしゃるように、そのペナルティーといたらちょっと厳しめですけども、こういうものを捨てたから、もうごみを捨てる回数が減るよというペナルティーもいいと思うんですけども、原因によっては。ちょっと1回ワーキンググループで話していく内容なのかなど。</p>

利用者の会	<p>民間やったら、即もう週2日やで。原因が何であれ、即そうするのやで。それが普通、他の職場の基準や。それがこのとこだけ特別。起こったら、「やっぱりもう即週2日や。何が原因であったとしても」ということを。えらいすみません、言わんと気が済まないの、すみません、よろしくお願いします。</p>
利用者の会	<p>水銀のときに、炉が止まったので結構皆さんに周知徹底しましたよね。で、原因がこうであると。で、水銀はここに持ってきてください、電話をしてくれたら取りに行きますという話をしましたよね。ということは、今回だったら、2か月止まって復旧したときに、直りました、原因はこれでした、こういうものを入れないでくださいというのを、その地域に全戸配布するとかね。</p> <p>だから、そういう、要するに2か月間止まったのは、これが原因で、市民が原因だということを周知徹底させるようなものを、そのときに掲示板貼るなり、チラシ配るなり、もしくは投入口に貼るとか、そういったことで、はっきりした時点で、しかも2週間止まりました、3週間止まりましたというのが、市民、出す側が原因なのでですよということがはっきり分かるようなものをそのときに出す。それは2か月間、苦労したのですよと。こんな苦労して、やっと直したのですよと、大事に使ってくださいという趣旨が伝わるようなものをそちらに配るとするのが必要じゃないかなと思うんですけど。</p>
利用者の会	<p>そのときに、この間もマンホール落下して2人の人亡くなっているわね。そやから、それも含めて、最悪こんなことも、今そこまで死ぬとかそこまではいらんにしても、最悪、作業員が非常に重体いうか、そういう可能性もありますよというふうなことも安全上のこともしっかり出しとってほしい。</p>
司会	<p>はい、山口さん、どうぞ。</p>
利用者の会	<p>はい、これは参考意見ですけども、私は、廃棄物減量等推進審議会の審議委員をしていますので、野村さんがおっしゃった問題、指摘された問題の根本原因をずっと1か月間考えたのですね。で、考えた挙げ句、少し提案をさせてもらったんですけど、何が問題って、やっぱり大量生産、大量消費という、この社会の構造、これに1つの大きな原因があって、消費者という言葉は嫌いですけども、消費者が、自分が好きな、自分の欲望に基づいて、欲望を刺激されて物を買う。で、買ったら必ず捨てないかんのですね、最終的に。で、それが全く責任も何も考えずに捨ててしまう。それを一番推進したのが、パイプラインというのが私の位置づけなのです。</p> <p>パイプラインは、何にも考えないでいい、捨てりゃいいのです。幕張は、鉄とか鍋も全部捨てていいのです。そうすると、何にも考えない人間を私たちは育てた。また、この仕組みが今がっちりしていますので、なかなか難しい。ですから、少しでもいいから、そのことを考えて、何か自分が行動するときにちょっと考えてみる。</p> <p>これは、ドイツの哲学者のマルクス・ガブリエルが今、提案している。考える人間、何かをそのまま今までの欲望どおりにするのではなくて少し考えましょう。そのことによって、変わるのだ、変わっていきけるのではないか。だから代替案を本当は考えるときには、人間そのものも一緒に変えていかないと、同じことになってしまうのですよ。ただ、ごみを捨てりゃいい。何も考えずに、そこにまだあらゆるものをいろんな問題入れて、そのまま処理する仕方というのは、私たちも大変だということなので、その辺の考える人間、私の知恵をちょっと働かす。知恵をちょっとだけ働けば、みんな</p>

	<p>持っているはずなのですよ、ごみを捨てるときに、こうしよう、ああしようって。</p> <p>また、その辺を芦屋市民として少しでも考えていく、考えて動ける人間というのを10年、20年かかったにしてもつくっていかないと。単に器だけ変えても、変わらないと僕は今思っています。この大量消費、大量生産というのは、きちとした仕組みになっていますので、これを一遍にどんと変えることは絶対に無理です。少しずつ、私達が知恵を働かせてやると。小さいところから、小さいところからいいのですよ、できるところから一步一步。私はペットボトルやめて、家にブリタという、あれで全部入れてこんなんを集めてきている。こういう本当に細かい方法を少しずつ実践できる芦屋市民、なんとか市と協力して、少しでもいいからつくっていこうと。そういう運動が今、世界的にも起き始めていますのでやっていけたらなと今は考えています。ですから本当に根が深い問題だと私は思います。以上です。</p>
司会者	はい、野村さん、どうぞ。
利用者の会	<p>私の意見としては、1つ、例えば、これはできるかどうかは別ですけども、例えば、コロナの対策で日本は甘い、欧米から比べたら。欧米人と話しをする機会が私はあるのですけども、ロックダウンなくて、ようこれでそんな増えんと一体どういう生活しているのだと。それとも日本人はコロナに強いんかとヨーロッパ人はというような形になっています。</p> <p>何が言いたいかというと、もっと、そしたらごみを捨てることについても、厳しくしてね、みんな監視カメラつけて、捨てる、で、もし捨てたらいかん物を捨てたら。市役所の周りで吸ったら今1,000円の罰金、何か条例がありますよね。あれもおかしいのは、潮見町では吸ってもいいわけですね。で、潮見町にたばこの吸殻を捨てたってもう誰か拾わんといかんのですけども、これはしょうがないと。それやったら、同じようにごみの問題は、どうするかといったら、もう罰金やと、その変なもの捨てた人が。そういう条例つくってやるというのも1つの、そこまで、それができるかどうか分かんないですよ。</p> <p>だから、例えば考えたら、中国はそれをやるでしょうね。シンガポール、やるでしょうね。ヨーロッパ、それやったら市民が反対してデモになってなかなか前へ進まんでしょね。だから国によって違うでしょうし、日本はそれがはまらんというのはよく分かっているのですけど、山口さんとは違うやり方かもしれんけど、めっちゃめっちゃきついかもしれんけど、もう市側が強行に出したとしたら、それも1つの方法かなというふうに思います。</p> <p>これは、ここから先の話、実際にできるかどうかというのはグループAで話すべきだと思いますので1つの方法としては、強行策としてはあるのではないかと思います。</p>
司会	はい、ありがとうございました。それ以外にご質問ございませんか。なければ次の議題の3番、パイプライン補修状況について2つございます。まず、第一住宅、投入口の異音の発生、2つ目は、輸送管穴あき補修工事、その2つがございませぬ。これに関しまして、中様からご説明ですか、林さんですか、よろしく願いいたします。
市	<p>議題3につきまして、まず、パイプライン補修状況について、1番の第一住宅投入口の異音発生について、林から報告させていただきます。</p> <p>こちら先ほど春木さんのほうからご質問あったとおり、資料1のほうですかね、一</p>

	<p>番下に書かせてもらっているのですが、契約済みで、今月契約できた段階になりますので、今、その施工計画等の作成をしております。詳しいことはまだ決まっておきませんので、また報告できる段階になりましたら、ワーキンググループか利用者の会。また実際こちらに関しましては、投入口近くには住宅ということもありますので、そちらのほうにも説明等も検討しておりますので、今の説明できる段階としては、こちらのほうだけになります。進捗等はまた報告させていただきますので、よろしくをお願いします。</p>
市	<p>続きまして、現在パイプライン工事の進捗状況について、芦屋市の中から報告させていただきます。</p> <p>資料としましては、こちらA3の工程表になります。すみません、1つ入力ミスがございましたので訂正させていただきます。一番右端上の2020.10.23現在となっているのですが、こちら23ではなく、24の訂正をお願いいたします。</p> <p>現在の状況としましては、ナンバー1、ラ・ヴェールⅢの前のナンバー1の施工をしております。状況としましては、左手真ん中ほど上部にあります、10月24日現在というところの現状でございます。管の総延長としましては25メートルのうち、5分の3の布設取替が進んでおります。</p> <p>その際に撤去しました管の状況というのを、下のほうの写真に添付しております。真ん中の腐食状況A、腐食状況B、で、Bのほうで破片を持ってきておりますので、もしよろしければ、順番に見ていただきたいです。</p>
利用者の会	<p>遺跡から出てきたようや。</p>
市	<p>大分、摩耗してしまっていて、そういった薄い状況になっております。撤去した管の中には、過去の耐摩耗鋼で管をもたせていた部分もありまして、耐摩耗の外にその破片があって、破片が残っていたという状況になります。</p> <p>今後は、11月上旬には、このナンバー1の輸送管取替を終了しまして、その後、ナンバー2のみどり地域センター前に移っていきます。最終的には3月15日の竣工予定となります。現状では以上となります。</p>
司会	<p>はい、ありがとうございました。ただいまのご説明で、ご質問等ございますか。</p>
利用者の会	<p>はい。</p>
司会	<p>はい、野村さん、どうぞ。</p>
利用者の会	<p>中さん、一言だけですがね、これ何か、この前のグループAのときにお話になっていたこの管ですね、今も置いておられる。どこに。</p>
市	<p>場所は、下水処理場のほうに置かせてもらっています。</p>
利用者の会	<p>下水、はい。</p>
市	<p>もし興味がある方がいらっしゃったら、このあと案内させていただきます。下水処理場のほうに。</p>
利用者の会	<p>私は興味があるので。できるだけ皆さんも、今回、今のこの破片見たら、これは一遍見とくほうがいいかなという部分もあるので。</p>
市	<p>はい、このあと案内しますので。</p>

市	すみません、先日のワーキンググループのときには、この場内にあったのですが。
利用者の会	なんでしたら、私も車出して、で、乗って行って、見て、またここに帰ってきて、この場で解散してもいいですし。
市	こちらの都合で、下水処理場のほうに仮設置き場として置かせていただいておりますので、車で案内します。
利用者の会	はい、私、平成27年、26年末か、27年かな、利用者の会のあれやる言うて、南浜町に参加したときに、あれ、芦屋浜の高層住宅のちょっと出口のところで、今、輸送管を修理しているから見に来て言われて、それで見に行ったら、やっぱりこんな状況でした、ぼろぼろで。だから、その所々によって、土地の状況やとか水位やとか、いろんな条件があるのやと思いますわ。
司会	はい、大田さん、どうぞ。
利用者の会	今、現物と、この写真を見せてもらって、全くひどい状況だなというふうに感じて、各所でこういう状況が多々起こっているのちがうかなというように危惧しているのですが、その辺のところどうなんかなと。で、よくここまで、こんな状態になるまで使えていたということです。どういう状況であったんか教えてもらったらと思って。
市	<p>実際、大田さん言われたとおり、パイプラインは同じ時期にほとんど埋設しているものなので、ほかでも多分こういった状況はあると思います。特に、この2箇所については、今回輸送管の交換工事やる前に内張り等をそれぞれナンバー1、ナンバー2でも10枚以上つけているような状態です。</p> <p>で、特にこちらのナンバー1は、輸送管の上に別の埋設管があって移設とかという手続等もかなりあって、踏み出すこともすぐできなかった部分もあるので、今年やっとできたなというところもあります。</p> <p>ナンバー2とかも結構、緑道の細いところで、ルート変更もありましたので、そういった検討もいろいろ進めてきまして、優先順位をつけながら、できるところを順次やっているような状態になります。</p>
利用者の会	ニュースで、どっかで、地面が陥没したという事故いうのか、事件というのか分からんけども、そういうことがあったということで、こういう状態でパイプの下のところにとんどん自然的に掘って行って陥没というようなことが起こることはないのかどうか。大体こういう状態だったらパイプ自身が腐食していたと思うのですよ。上の部分が「どすん」と落ちる可能性も考えられるのちがうかなと思うのですが、その辺のところ、どうなんか。
市	今この腐食状況A、Bですけれども、腐食が激しいのは管底部、底になりますね。そういった場所を過去の耐摩耗鋼という形で内部を補強している状況で管がもっていたという内容になります。
利用者の会	でも、浅田さんが言ったようにね、本当に輸送管の中も調べていかないと、非常に怖い状況いうのも考えられるのちがうかなと思うけどね。その辺のところは、計画していただいたらどうかと思うけどね。
利用者の会	ちょっと大田さんの質問、その陥没の話は、私、土木の専門じゃないけど、ちょっと説明しましょうか。



	<p>どういうことか言うたら、今、東京で落ちていたのは、大抵はまだ発表されてないですけど、地下鉄工事でそのシールドで大きな穴を開けると。そしたら、それを開けたら、どうなるか言うたら、あれ40メートルも下やから、普通は10メートル、20メートルとかのところになるけども、そんなことにはならないと言っているけども、そこに地下水が影響して、結局土が流れてしまって、ある箇所のとこの土がなくなって、ほかに流れてしまった。だから空洞になると。だから陥没したと。</p> <p>今後の場合、もしこれが、下側の土が多少もったとしても、そこまではならないと、それも底側やから、上側がなっているけども、この管の部分だけが陥没することはあります。そうなったとしても、あんな大きな形にはならないと考えられます。恐らくアスファルトがある程度へこんだような形になると。ただ、大きな、そこにたまたま10トンのトラックの後輪が乗ったとかいう場合は、「ぼこっ」とへこんで、そのトラックがそのままタイヤが出られないようになるというような可能性はあるかもしれないですけども、その人身事故になるまでの大きな穴が、5メートルぐらいの深さの穴ですね、そんな形の陥没がこれで開くとはいちょっと考えづらいというふうに考えます。</p> <p>ただ、これは耐摩耗鋼どころなんじゃなくて、何か写真のAとBを、特にAですね、A見たら、耐摩耗鋼は、これでは貼れないのではないかと、この状態であれば、これはもうちょっと、これ交換するしかないですね。それ以外、方法ないでしょうね。</p>
利用者の会	<p>これ、私はよくもったなと思いますよ。もう、これたまたま、地中に埋めているから、土がパイプの代わりに保護していたとか、そういうことでここまで来たのですわ。もしこれが地上のパイプだったら、とうに、もう数年前にもうこれ、「くしゃっ」となっちゃっていますよ。ということは、ここまで使って、やっと分かるのかということになりますわね。じゃあ、どこでというのは、物すごく深刻に考えないかん。</p>
利用者の会	<p>これ増田さん、プラントやっておられるからね、今の意見出るのやと思うけどね、単にこの状態であって、プラント上であったとしたら、もうこれ重大どころか、もうこれ工場閉鎖ですよ、メインパイプであれば。</p>
利用者の会	<p>基本的にカメラ調査というのは、毎年。</p>
市	<p>2キロぐらいやっています。</p>
市	<p>全てではないですが、2キロぐらい調査して、穴あきとか、こういうことがあって、いろいろ調べて出てきたと。これは前、ワーキンググループで、林から説明させてもらったみたいにリスト化をして、で、水中ボンドで仮補修して、耐摩耗鋼で補修してという形でやっています。順次そういう形で、それも追いつかないところは、こういう形で今、交換工事というのをやっています。</p> <p>だから基本的に分かっているところに関しては、ある程度の予定を立てております。ただ、カメラ調査が行き届いてないところ、もしくはカメラ調査をやっても、その1週間後に穴が開くかもしれないと、そこまではやっぱりちょっと予見ができないところがありますんで、どうしてもこう毎年カメラ調査を、怪しいところはやっていくという作業しかできないような状況になっています。</p>
利用者の会	<p>いや、カメラ調査ではね、非破壊の例えばレントゲンあてるとかいうことで、肉厚を計るのだったらいいけども、カメラで見ているだけやったら、そこが、どれだけの薄さになって、どれだけの状態になっているかというのは見えないわけですよ、現実</p>

	は。
市	そうですね、穴あきしか分からないですね。
利用者の会	うん、穴あきがここにあるっていただけならば、その腐食状態がA、Bのようなひどい状態になっているのか、それとも、そこだけちょっと穴が開いているのかというのはちょっと分かりづらいと思うのですよね。だから、そこら辺が、まあ言えば、本当の工事の最終、その交換とか、どういう補修をやっていくかということについては、現実には何か方法考えないと設備課としては分からないというのが現状じゃないかと思いたすがね。
利用者の会	いいですか。
司会	はい、浅田さん、どうぞ。
利用者の会	これって全部、底のほうですよ、配管の。ということは、水がたまりやすいところかこうなるのですかね。勾配とかいろいろあって、もしくは、こすられて、こうやって、それと腐食が重なっているのか。要するに。
市	これという原因はちょっと分からないのですけども。
利用者の会	何かその場所の特徴みたいなのが見つかってくと、類似している場所は怪しいからそこは集中的に調べようとか、予防保全で早めに替えちゃおうとかいうことも考えられるのですけどね。ちょっとそういった感じで、こういうふうになった場所、どういう特徴があるのかと、それなら1回解析されたらどうかと思うのですけど。
司会者	それ以外のご質問ございませんか。はい、山口さん、どうぞ。
利用者の会	<p>私たちの決めた基本的なスタンスは、補修で何とか20年、30年もたそうと基本的な方針が決まっているわけです。ですから、これをまたゼロからやるというのは無理なのです。じゃあ、どうやってうまく費用をかけなくて、これから20年、30年もたせるかという議論をすべきだと思います。</p> <p>だから、そういうふうに向きな意見で、どうやって、じゃあ、こんな状態でやっていったらいいのか。我々は補修で何とかやっていく。大阪は、南港は違う方法でやっていくこと決めているのです。ですから、芦屋市の条例で決めた案に沿って何とかやっていくというのが基本的な考え方だと思います。</p> <p>私は千葉に行きました。千葉の職員、市の職員と、あそこのセンター長といういろいろ話しをして、幕張は共同溝なのですね。やはり底辺部がやられるだろうというのは、意見が一致したのです、その場でね。で、私たちは埋めているので、なかなか難しいという話をしたら、千葉の人はどう言ったかというと、「ぐるっ」と回します。だから、下がやられたら、それを「ぐるっ」と、共同溝なので回せると。それで食いつないでいくという話だったので、ああ、なるほどと、共同溝だったらそういうことできるなとは思いました。</p> <p>私の質問というか、確認は、第一住宅もうちょっと説明してほしい。というのは、私、木曜日に説明しないといかんのですよ、このことをね。どうなっているのかと、1年間も過ぎて。もう1年過ぎていますよ。ぱっぱとは、なかなか説明しづらいので、もうちょっと話して、もうちょっと理解しやすいように説明してほしいです。何が遅れているのか、原因は？</p>
市	原因としては、スクリューのベアリングボックスのところ異音しているので、そこを

	中心に今、補修というか、交換を行おうとはしています。実際、今、10月に契約した状態で、まだ書類等が整ってない状態なので詳しいことは。
利用者の会	方法は決まりました？
市	方法はある程度決まっています。
利用者の会	で、どこの業者がするかも決まりましたと。
市	はい、業者はTMESさん。
利用者の会	で、その後、じゃあ、いつそれが決まって、これからどうやってというのは。
市	10月1日に契約は終わっています。
利用者の会	12月1日に契約。
市	10月です。
利用者の会	終わりましたよと、はい。
市	契約はしました。
利用者の会	幾らですか。
市	すみません、ちょっと今、手元がないので、またご連絡します。
利用者の会	そして？
市	そして、今、その契約後の施工計画の手続の書類を業者が今、作っている状態になります。どうやって工事やろうとか、どういう工程でやろうかという、段取り中です。
利用者の会	いつ出来上がるのですか。
市	工期は、今のところ2月末なので、そこまでに工事全て終わらそうという予定になっております。
利用者の会	2月末までに工事を終わらす。
市	はい。恐らく、ほとんどは工場製作期間ですね、物を作る期間が最初、前半部分は大半になると思います。
利用者の会	製作をすると。
利用者の会	林さん、もう一つ、山口さんにご説明いただきたいのは、止まる期間ね、大体その何か工場で作って持ってきて、どかんと入れ替えて、こういう話やったと思うのですが、止まる期間はどれくらいというのは。
市	そうですね、大体、今話しているのは、1週間程度、月から金までの予定で、そこはちょっと今後の工程で前後する可能性があるのですが。
利用者の会	だから、それ2月のはじめぐらい、1月の末から2月のはじめぐらいに。
市	そこがまだちょっと出てないような状態になっていまして。
利用者の会	出てないけども予定として言えば。
市	はい。
利用者の会	構造図面なんかでもなかったよね。

市	そうですね。
利用者の会	そやからね、今回これ図面作るでしょ。当然、キーマンス？
市	ティームス。TMES。
市	今の委託業者です。高砂丸誠、社名が変わっただけです。
利用者の会	ああ、TMES。
市	はい。
利用者の会	TMESやね、ああ。
利用者の会	失礼ですけど、これ、図面は頂くことになっているのですか。
利用者の会	それを言っている、その図面、構造図。
市	そうですね。
利用者の会	図面は、芦屋市で保管できるのですよね。
市	提出してもらおうとか。
利用者の会	そうそう。
利用者の会	というのはね、今度ほかで起きたときに、その図面を基に入札とかいうことも可能になれば、誰でもできることになるから、そのところはどうか。
市	もともとの図面ということですか。
利用者の会	いやいや、今回の。
市	新しくつけるやつですか。
利用者の会	新しくつけるところの図面です。
利用者の会	もともとのやつなんて、もう廃番からね、今あるやつでどういう組立てになっているかと。
利用者の会	だから。
市	今後あと33台、スクリュウ型がありますんで、今後につなげるような工事をする。
利用者の会	つながるようにしとかんとね。それと、使ってないところはかなりあるのちがうの？芦屋浜でも投入口。その辺がね、残念なんやけど、下のスクリュウがあるのであれば、その辺も活用し、弁かてそうやけど、活用できればいいんやけど、それまた今回。
利用者の会	だから、その図面に関しては、TMESというメーカー側が持っていて、例えば今度包括契約で、そのTMESが関係ないとかになったときには、やはり芦屋市として、リーダーとして、やっぱり図面関係はきっちり保管して持っていていただくというのを考えていただきたい。特にこのパイプラインに関しては、規格外で、ほとんどスペシャルバージョンで作っているから。
市	そうですね、オーダーメイドで。
利用者の会	図面に関しては、やっぱり市として保管するというのが、必要やと思うのです。だから、それはどういう契約されているか分からないけども、図面は出していただ

	く。その図面に関しては、芦屋市でこの後、これから30年間保管しとくということを確認にお願いしたいと思うのです。
利用者の会	契約は、来年度から9年間？
市	包括ですか。
利用者の会	包括。9年間ね、来年度から。9年間と出ていたと思うけど、それはちょっと置いて、9年間となっていたと思う。その間に、中央制御装置とか、それらもの入ってくる可能性がある。
市	それは業者さん次第ですね。
利用者の会	そやけど、その辺もよく考えといて。あれがかなり投資額としては非常に大規模だと思うので、それを現状に踏まえた形でいうことで、かなりちょっと抑えた価格。その辺もやっぱり計装というか、制御盤の図面とかね、その辺を用意しといてね、その契約、どこに契約するのか分からんけど、しっかり頼みます。
司会	はい、ありがとうございます。それ以外にご質問ございませんか。なければ、本日の議題の4番、投入口の鍵注意喚起ポスターの配布、資料4に関しまして、山口委員長からご説明をお願いいたします。
利用者の会	<p>はい、利用者の会の山口です。</p> <p>啓蒙活動、非常に大変ですけど、これはやれるところからやっていこうという基本的な考えで、なかなか完璧にすぐはできない。1つの問題は、利用者の人たちが現状のパイプラインがどうなっているかいうことを何とか毎年知っていただく。それによって、いや、全く知らなかったというよりは、そういう指導がありましたよねということで、話が前に出ていくし、議論が進むということで、前回こういうパイプラインの年次報告書を利用者に配布しようということで、2019年度版を作って、もう印刷をラスクル頼んでいまして、恐らく来週に届くと思うのですが、それを7,000部、印刷かけています。で、6,000少しと思うのですが、全住戸に配布する。</p> <p>その中に、追加でこの今日皆さんのほうに来ている鍵の問題を一緒に何とかしよう。最初はなかったのですが、裏表紙に前回もこれを使って啓蒙しましたけど、今回はこの方法、投入口の問題を啓蒙していこうということで、こういうのを全戸配布する。読む人が全員だと思いません。だけど、ぱっと裏ぐらい見てほしいと思いますけども。これで何とか啓蒙活動、投入口の鍵の問題1つ。</p> <p>あとは、この間ワーキンググループであそこに貼るやつ、あれも素晴らしいアイデアだと私は思います。</p> <p>ですから、投入口にはあれを貼る、家庭にはこれを貼るということで、できることからやっていく。これは毎年、基本的にはこの年次報告書というのはきちっと作って、毎年、利用者の皆さんには知っていただこうと思っております。これですね。これどうぞ、ご説明を。</p>
市	<p>ありがとうございます。山口さんのほうで、そういったポスターを作成いただいたということで、市のほうでも何かできないかというところで、鍵の部分、差し込み部分に直接こういったものを各、ダイレクトに注意喚起できればということで、こういうことをちょっと検討しております。</p> <p>で、投入口のタイプによっては鍵の位置が違いますので、現在この投入口のタ</p>

	<p>イプは多発している、新浜町の分3081ですかね、で、ちょっと作成させていただきました。まず手始めにその多発している箇所には貼っていかうかなと思っています。で、順次、タイプ別の分をお作りして、各投入口に貼りつけられれば良いなと思っております。また、状況の報告は次回等させていただきます。</p>
利用者の会	<p>あとは、この間、提案しましたように、2回以上同じところで、これはその鍵を替えていくということも1つの方法じゃないかと思います。私が住んでいるところは、どうも変わったみたいで、非常にスムーズに、もうびっくりするぐらいスムーズになっていますので、1,600円ですから、その辺も替えていくということです。以上です。</p>
司会	<p>はい、ありがとうございます。本日の議題の5番、先ほど皆さんにこちらのほうに入場していただきますときに配布されました、廃棄物運搬用パイプライン施設の年次報告(令和元年度)(案)というものです。これに関して、課長のほうからご説明をお願いいたします。</p>
市	<p>芦屋市の藪田です。本日の追加資料で、最後にお配りした資料なのですが、これを説明させていただきたいと思います。</p> <p>年次報告ということで、昨年度も同じような様式で平成30年度版というのを作っております。で、今年の3月頃だったかな、この協議会で説明させてもらって、市議会へ報告しているものです。今回はその令和元年度版ということで作りました。</p> <p>まだ案という状態ですけども、説明させてもらいますと、1番、パイプライン施設の年間基本データということで、平成29、30、令和元年度、3か年の実績、パイプラインで集めているごみの量とか、このパイプラインを使っておられる収集人口、世帯、ちょっとずつ減ってきているような状況ですね。それと年間にかかっている、処理経費が令和元年度については2億2,676万5,571円ということで、この内訳は、その2番の下のところでまた説明します。1年間で使っていますセンターとローカルの電力使用量も載せています。これも毎年少しずつですけども下がってきております。</p> <p>2番で処理経費の内訳ということで、先ほどの2億2,600万、この内訳を書いております。令和元年度、需用費といまして、電気代等になるのですけども、消耗品も入っております、部品代ですね。令和元年度は3,880万。委託料、これは運転管理とか、詰まったときの管の洗浄とかという委託料ですが、9,900万。工事請負費というのが、輸送管の穴あき補修工事などということで、6,400万。負担金、補助金及び交付金ということで、これは共同溝の負担金になります。令和元年度は16万。あと、補償、補填及び賠償金ということで、こちらは電気設備移転補償ということで、輸送管穴あき工事で、移設が必要になった電柱の移設の費用になります。100万円ということです。ちなみに左手側の平成30年度はですね、電柱じゃなくて、これは水道管の移設の費用でした。最後に人件費ですが、これは市の職員の人件費、こういうことになります。これが実績で、平成30年度と令和元年度を比較しますと、大きく増加しているところが工事請負費になります。</p> <p>この工事請負費ですけども、輸送管穴あき補修工事等になりますが、これは毎年施工箇所や施工延長が異なりますので、このように工事請負費は毎年増減しております。その下には、参考までに30年度と元年度の施工箇所と施工総延長を載せております。</p>

	<p>裏面にいきます。3番として運転状況でございます。(1)に輸送管の詰まり。令和元年度は、輸送管の詰まりでパイプライン止まったというのが3回ございました。浜風町と新浜町でございます。</p> <p>それと、(2)、先ほどもお話がありましたが、高浜町の貯留排出機、スクリュウの異常、こちらについてはちょっと時間かかっておりますが、ワーキンググループにおいて継続的に検討しております。</p> <p>4番、輸送管の穴あき補修ということで、(1)管の部分取替え、これは先ほどの表面の令和元年度、施工箇所2箇所、総延長57メートルというところですけども、浜風町の2箇所でございます。(2)小補修・仮補修、水中ボンドでありますとか、鉄板溶接、あと耐摩耗鋼を貼るなどの補修ですが、こちらは各町で18箇所施工をいたしました。</p> <p>5番、利用者の会との話合いということで、(1)本日のようなゴミパイプライン協議会6回開催しております。内容については、毎回やっております運転報告でありますとか、輸送管の状況把握、またマナー違反投棄防止の検討(トラブルゼロの活動)です。また、令和元年度では、パイプライン投入口への誤投入の防止ということに取り組んできました。それと、輸送管が詰まったときのなどの市と利用者との迅速な情報伝達の仕組みをつくったりとか、集団回収を増やす取組、またパイプライン施設の年次報告を行ったり、利用者の会で行いました住民説明会とか、住民アンケートの意見を整理して、この協議会で提案すると、そういうようなことを行っていました。</p> <p>(2)ワーキンググループですが、こちらは5回開催しております。内容は、輸送管とか設備、先ほどのスクリュウになりますけど、設備の補修方法の検討でありますとか、電力使用量、これCO2の排出量を削減しようという目的と、それと利便性も考慮しながら運転方法を検討しようということもやっております。そのほか誤投入とか鍵の問題というのに取り組んでおります。</p> <p>ワーキンググループで運転方法の工夫を行うということでCO2の排出量削減に取り組んでおまして、参考までにですが、過去3年間のCO2の排出量を出して表にしてみました。29、30、令和元年度でございます。このような形で毎年少しずつですけどもCO2の排出量は下がってきているというような状況です。ただ、劇的にというようなところまではまだ、ちょっとなかなか結果は出てきておりませんが、今後も引き続き取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>令和元年度、皆さんと丁寧にやってきた報告書、簡単にまとめてみました。今後、市議会へ報告していきたいと思っております。以上です。</p>
司会	<p>ありがとうございました。ただいまのご説明でご質問等ある方は。はい、春木さん、どうぞ。</p>
利用者の会	<p>すみません、春木です。ありがとうございます。</p> <p>これで、令和元年度、これは今回の一昨年までの条例化で決まった初年度に当たるわけですね。令和元年度がね。これが初年度です。それが2億2,600万超えていますね。で、あの条例化の基本となっているデータで言ったら、最初の10年間、山口委員長につくってもらった、ホップ・ステップ・ジャンプのホップ、令和元年から10年間。その10年間で26億5,000万。26億5,000万ということは、平均したら、平均言うのはちょっとおかしいかも分かんけど、平均したら2億6,500万、毎年、</p>

	<p>毎年使って最終的にホップの段階が終わるということですよ。</p> <p>そやから、これ、2億2,700万ぐらいやから、後ろにずらせたと、2,000万、2,000万ほどずらせたと。あと、ともかく中層の制御盤とか、いろいろまた今回のスクリュウとかがかかっていたら、ともかくこれはやっぱりできる限り、2億6,500万以内でずっとちよつと抑えていって、目標達成するようにということですね。</p> <p>それとやっぱり収集人口が減ってきているわけね。それと、人口でもそうなんやけど、地区によっては70代以上が3割、4割の地区も出て、なおかつ、1世帯に2人未満ということは、1人世帯の数がさっきもう出ていましたけど、回してもらいましたけど、それで増えてきているということですね。この辺もやっぱり今後考えること。</p> <p>それと、疑問なんやけども、次のページかな、需用費も電気代も増えとるけど、これはやっぱり予備費、消耗品費がある程度増えてきているという気がします、ただ数字見ただけやったらね。それと、この利用者の会の話合いの冒頭、このデータ、表、これ電力使用量を載せていますけど、これは以前のワーキングでもらった電力使用量と変わっているけど、これはどういうことかな。</p>
市	はい。
利用者の会	それで計算してCO2出しているけど、これどうなんかな。
市	これですね。
利用者の会	前にもらった比較したデータと全然違う。
市	<p>電力メーターが、2つあるのです。先日のワーキンググループで出している数字は中央監視装置の電力メーターでして、担当者によっては、それでずっとデータを取っています。で、今回これをお金とリンクさせようとしていまして、この1ページ目で需用費の中に電気代として、お金と関連づけていこうとしますと、電力会社との取引メーターになるのです。</p> <p>この2つのメーターがあって、どっちでデータ取るかということですけど、お金との関係もあって、取引メーターのほうで取っているということで、この表の下に、電力使用量は、取引メーター按分値で計算しています。と書いていますが、ワーキンググループで出した電力量との差がちょっと出てきています。</p>
利用者の会	これは非常に大事なデータじゃないですか。行政と話し合って。
市	ちなみに、平成26年度の第三者検討委員会とか、もうそれよりもっと以前から、過去からずっとこの電力会社との取引メーターのデータで計算しています。
利用者の会	これで取っているということね。
市	ずっと過去からこの数字でやっています。
利用者の会	そしたら、以前もらった、ワーキンググループでもらった、この年度別、月別の電力使用量、CO2排出量、ごみ排出量とかいうこのデータは、これ基本的には非常に大事なデータなんやけど、このデータが全然正式なデータと合っていないというたら、全く意味なさんからね。
市	そうですね。
利用者の会	うん、そやから、これ。



市	この2つの数字が今、現在ありますね。ちょっと。
利用者の会	合わせとってほしいな。ほんでCO2かて、うまく10%減いうベンチマークは平成28年度やったと思うのというのが大きなあれなんやけどね、10%目標にしとるから。以前ワーキンググループでもらったときは、5%ぐらい減なんでね、ベンチマークと比べたとき。そのトラブルはそんなにないよ。令和元年度は。それでも5%も減らせたというのは、電力も平成28年度ベンチマークと比べたら若干減っているということ。 そやから、その辺の評価するときに全然、正式なデータでなかったら意味ないからね。これちょっと合わせとってほしいな、このデータは。
市	そうですね。
利用者の会	じゃないと意味ないね、これ。ほんで、やっぱり目標は、やっぱり利用者の会と行政と合わせとかなとね。
市	ちょっと僕も考えたのですね、この表作ったときに、基準年度入れて、削減率というので、10%という目標を掲げていますので、今、じゃあ何%までできているのかという数値を入れようかなとかちょっと思っていたのですけど、やっぱり入れましょうか。
利用者の会	うん、やっぱりそれで。
市	ちょっと悩んでいたのですが、ここは。
利用者の会	山口委員長につくってもらった、ホップ・ステップ・ジャンプのあの中身ね。
市	あれを目指しているというのもあるので。
利用者の会	CO2減の10%という目標も上げているのですよ。
市	はい。入れます。
利用者の会	そう。それ何で入れているか言うたらね、地球温暖化のこともあるけど、やっぱり利用者の会にも住民も行政のことも含めて、一生懸命やっていますよという、これも変な話やけど、戦略戦術というか、議員に対してもアピールになりますわね。
市	僕も悩みました、はい、ちょっと。
利用者の会	ただ、詰まりを起こしているだけやなしに、こういう費用かて、CO2かて、頑張っていますよと、廃棄物も減ってきたでしょうという意味で、やっぱりこの数字を合わしとってもらわんと意味あらへん。
市	目標値設定しているものについては、入れるようにします。
利用者の会	そうやね、これだけ減りましたよ。増えることもある。
市	過去から見たら増えているときもちょっとあつたりしていますが。
利用者の会	令和元年度がスタートやから、このスタートで10%に対して何ぼ減ったかというのが一番大事やし、来年なったら、ああ、今年度か、今年度はちょっと増えるとかね、場合によってはあるかも分からん。
市	そうですね、詰まりで長い間止まっている期間とかもあるので、やっぱり何かおかしなデータが出てくるときもありますよね。
利用者の会	そう、結構これはいいよ。これは詰まっていることも、月のも書いてくれているからね。また、そのとき、極端に少なかったら、ほんだら、この月は前年度の月を当てて

	やるかとかね、決めたらええと思うけど、その辺のずれが願いますわ。合わせとかんと、何で、えらく何かちがうなと思ってね、びっくりしている。
市	今回使っている数値はほかでも使っていますし。
利用者の会	それがもう正やと言うのであれば。
市	正というか、過去からも、ずっと使っているの。
市	もう一つの、こっちのA3のほうで出している値というのは、いわゆる日報の値で、中央制御室の日報で出てくるパイプラインの電力量から出しています。それをエネサーブの料金体系に入れて、電気代を出している形になります。
利用者の会	そのほうが実際のCO2に。
市	どっちも正しいといえば正しい値なんですけども、どちらかに揃えるという形であれば、はい。
利用者の会	最終的にこれをエネサーブとの電力使用量から割り振ったら、パイプラインは何ぼというのになるの？
市	ただ、そっちのほうが少なめに出ると思う。
市	そうそう。
市	混ぜて比較しちゃうとおかしくなる。
利用者の会	そやからエネサーブのほうがね、実際。
市	今回、何でこういう値が出ているかという、私が作ったやつというのは、その生の電力量の値。ただ、それはパイプラインの電力量の値であって、別に取り決めたのではないと。皆さんご存じのように、取引メーター、エネサーブとの取引メーターがあって、うちの受電の電力もあるんですね。そこにやっぱ少々誤差が出ると。 で、こっちの藪田の出している値の、一番取引メーターは絶対正なのです。それでお金払っているの正なので、それに例えばそれが120とするじゃないですか。でも取引メーター125やった。その120の中にパイプラインが例えば30であると、4分の1であると。そしたら、125に無理やり合わせて、30ではなくて、125の4分の1であるから、31.25にすると、という考え方なのです。私は、その30という値を使ってやっている。だから、電力量というのをその、うちの一番頭の電力量、その中の何分の1かというので、無理やり関電に合わせて割っている値がこっち。で、その生の実際の電力量計から出てきている値を使ってやっているのがこっちという形になります。
利用者の会	実際にCO2に流しているのは？
市	実際にCO2、そのCO2というのは、関電の、うちの電力量のCO2というのは、関電で発電することによって出るCO2になりますので、その取引メーターの値になります。
利用者の会	取引メーターやね、その取引メーターの値に一応コンマ5をかけて、それがここで出しているCO2ということになるのやね。
市	そうです、それ焼却炉も入っていますけどね。

利用者の会	焼却炉も入ってね。ほんで、その割り振りで、焼却炉が。ここは何ぼ。
市	こっちの割り振りは、その125に対する何分の1、それをパイプラインの電力量に、そこで補正をかけて出した値。
利用者の会	そう。
市	補正をかけているから上がっちゃう。どうしても関電の取引メーターと、うちの電力量の間のところで損出があるので、どうしても関電のほうが上になっちゃいますよね。ちょっと難しい。
利用者の会	最終的に、このまとめというところでは実際の関電のエネサーブというのは、そのデータの割り振りで実際の値を取っているのところがうのかな。
市	どちらかにちょっと揃えます。
利用者の会	<p>やっぱりそれを、実際の使用量を使わないとちょっとおかしくなるよね。それまたよう考えて。じゃないと、同じデータやのに、違うデータになったら、ワーキンググループでも利用者の会でも戸惑うのでね。</p> <p>10%減に対して、初年度どれだけ頑張ったのやというのをね、ごみの発生量も含めてね。前もらったのでは、令和元年度は、もう出ているからね、電力量と、ほんで、ごみの量もね。せやから、ごみの量も減っているわけ。当然ごみの量を減らせたということは、細かいこと言うたら、焼却炉の煙突から出るCO2もその分減らせているわけ。そういうことでしょ、ごみの量減らせているということは。</p> <p>結局、この電気の使用量プラス、煙突から出るCO2、このトータルを結局は減らせたという頑張った成果ということになる。その辺ちょっと標準化、基準きっちりしといてくれたら。</p>
司会者	はい、ありがとうございます。それ以外にご質問ございませんか。はい、増田さん、どうぞ。
利用者の会	すみません、これを書いていただく必要はないのですが、代替収集で集めた量、これをどこかの段階で教えてください。代替収集量、プラスして年間で、このパイプライン地域からどれだけのごみ出たかちゅうのちょっと考えてみたいので。
市	これに載せるというよりも、例えばワーキンググループか何かでデータをお出しして。
利用者の会	そうそう、そういうところで教えてください。
市	代替収集量と費用ですね。
利用者の会	そうですね、はい。
利用者の会	そうですね、それも。
利用者の会	それ以外に。はい、野村さん、どうぞ。
利用者の会	それと、パイプラインが台風の影響とかで止まっているところもあると思うのですが、そういう丸24時間以上止まった場合を365で割った数値で稼働率の計算とかね、どれぐらい稼働しているのか、全部動いている時を100として、工事や、今、止まっているところありますね。その投入口が何個あるか、これをちょっと考え方違うかもしれないですが、それで稼働率の計算はできないでしょうか。

市	稼働率ですか。
利用者の会	稼働率というのは、止まっているときだけをだから、止まっている日にちを、例えばこれ、全部で100投入口があるとしたら、そのうち今30止まっている。で、それは今日の稼働率は70%なのですね。だから、それが全部動いていたら稼働率は100なのですよ。だからそれは定期工事も、定期で何か補修以外で、定期でも24時間以上止まった場合は、その稼働、1日として計算して稼働率という考えは。
市	例えば、できるかどうか分かんないですけどね、パイプラインが詰まったときに、ホームページに我々上げているのですよ。あれ、毎日更新。ああ、毎日違うな。あれをずっと記録は残っているのです。だから、あれを数えていけば、例えば令和元年度、1年間で、何月何日は何か所止まった。何月何日は何か所止まってとか、一日単位であれば分かるかな。
利用者の会	それでもいいのですね。それでいいと思うのですね。
市	今ので、稼働率とか出るかもしれませんがね。小規模な停止はわからないので、どこまで正確かどうかはちょっと置いて。
利用者の会	そこまで正確な必要はないのですが、どれくらいの稼働率か。
市	そのホームページで載せているやつを全部、毎日数えていけば、令和元年度は、数えるのは可能だと思うのですよね。
利用者の会	そうですね、平成の最終のところは結構ひどかったと、台風の影響で長いこと止まっていたから。令和元年は少ない。
市	令和元年度は少なかった。だから、令和元年度は作業しやすいということです。
利用者の会	ええ、令和元年、ほんで今年はまた、稼働率90割るとか、そんな数字になると思うのですけども。だから、年度によって違うでしょうけども、稼働率というかね。
市	それは1個の投入口に対する稼働率ではなくて、全体の投入口に対するということですか。
利用者の会	いや、だから1個の稼働、1個ずつの。相対で取れば基本的に全部のトータルが出てきますね。その個々で取ったものをトータルして。
市	130個ほどあるので、投入口、130個並べて、1番が何日止まっているから何番というのがあって、その平均というか。
利用者の会	そうです。だから、こっちに130個並べて、こっち側に月を並べて、で、何日止まったというのをに入れて、で、ずっと出せば。
市	出して、平均する。
利用者の会	そうそう。ほんで、トータルで計算したら、稼働率出てきますね。個々にこっち側で数式入れといたら。
市	もちろん1個1個出せばエクセルで全部計算できるとは思いますがね。
利用者の会	ええ、まず。
市	なかなかの作業量ですね。想像しただけでも、すごいなというのをちょっと思って。

	ちょっと考えましょうか。
利用者の会	ピュピュピュとやったら。
利用者の会	慣れたら、入れるほうぐらいやったら、山口さんの苦勞考えたら知れていると思って。私もやらんといけんかもしれんけど。
利用者の会	毎日やれば苦にならない。
市	そういうことですね。1年間まとめてという、ちょっとぞっとする作業量ですが。
利用者の会	そうそう。月に1回ぐらいやとけば。
利用者の会	これ、まとめてくれる、これ月々のこの年度別に、この月々のこのデータをね。この辺でこの止まった停止という、この地域、この地域、この地域ということで、おとしも非常にたくさん止まったので、台風の影響があつてね、ここに書いてくれているので、この辺の表なんかちょっと参考にして、ちょっと。
市	あれ、ホームページ数えていたら拾えるよね。今の作業量は置いといて。やろう思ったら無理だったとか。
市	いけますよ。
利用者の会	はい、それ以外にご質問ございませんか。
利用者の会	それとさっき言い忘れたけど、今はTMESがやってくれているのやけど、うまく広域化で委託いうたら、来年4月から9年間委託することになるけど、その辺のところですね、引継ぎもあると思うけど、その辺の内容のこともちょっとよく伝えてほしいけど。
市	広域化でなくて包括ですね。
利用者の会	ああ、包括、包括。書いてあつたよ。
市	要望書でしたか何かいただきましたよね。
利用者の会	ああ、パイプライン利用者の会からね。
市	はい。
利用者の会	それに対することも、だから、その辺やっぱり。
市	あれが令和元年度でいただいていたので、この年次報告にも令和元年度の実績として、そういう要望書が出てきたよと載せておきます。
利用者の会	そうそう。その辺も含めて今後も継続してやれるようにという意味でね。だから費用についても輸送管の簡単なやつはやってもらうやろうけど、この内張りやとか、ああいう輸送管の取替えや掘削やいうたら、市のほうでやる。
市	そうですね。
利用者の会	その結果、物すごく増えたら、それもきっちりしとかんといかんから。頼みます。
司会	それでは、本日最後の議題、次回の協議会のスケジュールでございますけれども、12月19日土曜日10時から、場所はこちらのほうでということで、皆様、ご都合いかがでしょうか。特になければ、これで次回は12月19日ということで決定させていただきますと思います。

	それでは、本日どうもありがとうございました。これにて第32回ゴミパイプライン協議会を終了させていただきます。どうもありがとうございました。
--	-----------------------------------------------------------------------

以上